

平成22年度 島根県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算概要

歳入決算額 99,580,717千円

歳出決算額 99,163,180千円

歳入歳出差引額 417,537千円 → 23年度へ繰越

繰越額のうち翌年度精算予定額 381,336千円  
 ・療養給付費等負担金(国・県・市町村) 134,393千円  
 ・後期高齢者医療制度事業費補助金(国) 5,012千円  
 ・後期高齢者交付金(支払基金) 241,931千円

繰越額のうち純繰越額 36,201千円  
 ・特別調整交付金のうち前年度実施事業分 120千円  
 ・預金利子分 36,081千円

(1) 款別決算額

(単位:千円)

款	決算額	款	決算額
1 市町村支出金	14,779,887	1 総務費	115,364
2 国庫支出金	33,045,424	2 保険給付費	94,705,914
3 県支出金	7,944,480	3 県財政安定化基金拠出金	87,146
4 支払基金交付金	39,267,619	4 特別高額医療費共同事業拠出金	17,698
5 特別高額医療費共同事業交付金	10,687	5 保健事業費	255,174
6 財産収入	4,922	6 基金積立金	1,365,465
7 繰入金	1,079,671	7 公債費	0
8 繰越金	3,329,810	8 諸支出金	2,616,419
9 県財政安定化基金借入金	0		
10 諸収入	118,217		
歳入合計	99,580,717	歳出合計	99,163,180

## (2) 主な内訳

## 【歳入】

(単位:千円、%)

	22年度決算額	21年度決算額	増減額	増減率
<b>1 市町村支出金</b>	<b>14,779,887</b>	<b>14,745,551</b>	34,336	0.2%
・保険料等負担金	(7,164,176)	(7,081,998)	(82,178)	
・療養給付費負担金	(7,615,711)	(7,663,553)	(-47,842)	
<b>2 国庫支出金</b>	<b>33,045,424</b>	<b>33,236,988</b>	-191,564	-0.6%
・療養給付費負担金	(22,804,298)	(22,751,304)	(52,994)	
・高額医療費負担金	(329,154)	(280,413)	(48,741)	
・調整交付金	(9,160,022)	(9,199,207)	(-39,185)	
・後期高齢者医療制度事業費補助金(健康診査等)	(46,441)	(65,347)	(-18,906)	
・高齢者医療制度円滑運営事業費補助金	(0)	(17,277)	(-17,277)	
・高齢者医療制度円滑運営臨時特例交付金	(705,509)	(923,440)	(-217,931)	
<b>3 県支出金</b>	<b>7,944,480</b>	<b>7,943,644</b>	836	0.0%
・療養給付費負担金	(7,615,325)	(7,663,230)	(-47,905)	
・高額医療費負担金	(329,155)	(280,414)	(48,741)	
<b>4 支払基金交付金</b>	<b>39,267,619</b>	<b>37,995,265</b>	1,272,354	3.3%
<b>5 特別高額医療費共同事業交付金</b>	<b>10,687</b>	<b>9,892</b>	795	8.0%
<b>6 財産収入</b>	<b>4,922</b>	<b>26</b>	4,896	18830.8%
<b>7 繰入金</b>	<b>1,079,671</b>	<b>780,397</b>	299,274	38.3%
・一般会計繰入金	(40,168)	(80,186)	(-40,018)	
・臨時特例基金繰入金	(706,813)	(700,211)	(6,602)	
・医療給付費準備基金繰入金	(332,690)	(0)	(332,690)	
<b>8 繰越金</b>	<b>3,329,810</b>	<b>3,823,675</b>	-493,865	-12.9%
<b>10 諸収入</b>	<b>118,217</b>	<b>124,899</b>	-6,682	-5.3%
・預金利子	(36,081)	(70,624)	(-34,543)	
・第三者納付金	(78,163)	(49,879)	(28,284)	
・返納金	(3,960)	(4,388)	(-428)	
・雑入	(13)	(8)	(5)	
<b>合計</b>	<b>99,580,717</b>	<b>98,660,337</b>	920,380	0.9%

## 【歳出】

(単位:千円、%)

	22年度決算額	21年度決算額	増減額	増減率
<b>1 総務費</b>	<b>115,364</b>	<b>119,114</b>	-3,750	-3.1%
・国保連委託事業	(60,149)	(70,180)	(-10,031)	
・各種通知・医療証等事務費	(12,899)	(12,814)	(85)	
・レセプト管理システム運営経費	(5,211)	(5,311)	(-100)	
・医療費適正化事業費	(105)	(15,988)	(-15,883)	
・特別対策広報等事業費	(17,790)	(3,297)	(14,493)	
・賦課徴収に係る事務費	(19,210)	(11,524)	(7,686)	
<b>2 保険給付費</b>	<b>94,705,914</b>	<b>90,154,017</b>	4,551,897	5.0%
・療養給付費	(90,516,443)	(86,365,064)	(4,151,379)	
・療養費	(282,889)	(253,048)	(29,841)	
・移送費	(429)	(275)	(154)	
・審査支払手数料	(249,359)	(247,227)	(2,132)	
・高額療養費	(3,376,716)	(3,049,487)	(327,229)	
・高額介護合算療養費	(67,348)	(44,606)	(22,742)	
・葬祭費	(212,730)	(194,310)	(18,420)	
<b>3 県財政安定化基金拠出金</b>	<b>87,146</b>	<b>80,586</b>	6,560	8.1%
<b>4 特別高額医療費共同事業拠出金</b>	<b>17,698</b>	<b>14,776</b>	2,922	19.8%
<b>5 保健事業費</b>	<b>255,174</b>	<b>207,882</b>	47,292	22.7%
・健康診査費	(228,972)	(190,202)	(38,770)	
・健康づくり事業、健康相談・健康教育事業	(26,202)	(17,680)	(8,522)	
<b>6 基金積立金</b>	<b>1,365,465</b>	<b>2,202,299</b>	-836,834	-38.0%
・臨時特例基金積立金	(706,908)	(923,440)	(-216,532)	
・一時借入金利子支払基金積立金	(22)	(26)	(-4)	
・医療給付費準備基金積立金	(658,535)	(1,278,833)	(-620,298)	
<b>8 諸支出金</b>	<b>2,616,419</b>	<b>2,551,854</b>	64,565	2.5%
・保険料還付金	(4,803)	(2,025)	(2,778)	
・償還金	(2,611,615)	(2,547,865)	(63,750)	
・還付加算金	(1)	(4)	(-3)	
・高額療養費特別支給金	(0)	(1,960)	(-1,960)	
<b>合計</b>	<b>99,163,180</b>	<b>95,330,528</b>	3,832,652	4.0%

### 3 剰余金の状況

#### (1) 特別会計剰余金(純繰越額)の状況(決算額)

(単位:千円)

年 度	剰余金の額	うち保険料剰余金
平成20年度決算	1,311,497	1,278,833
平成21年度決算	725,538	655,034
平成22年度決算	36,201	0
合 計	2,037,035	1,933,867

#### (2) 保険料増加抑制策における保険料剰余金(医療給付費準備基金)の状況

##### ① 平成22年度の医療給付費の収支状況

(単位:千円)

項 目	金 額
医療給付費準備基金繰入金以外の歳入の合計	94,698,558
保険料等負担金を財源とする歳出の合計	95,031,248
医療給付費の収支不足額	△ 332,690

〔 H22年度初めて保険料不足額が発生。  
基金の繰入を決定。 〕

##### ② 剰余金(基金)の状況

(単位:千円)

積立・取り崩し等 年月日	基金積立	取り崩し	基金残高	備 考
H21 H22.3.23	1,278,833		1,278,833	保険料剰余金 (H20分)
H22 H23.2.22	655,034		1,933,867	保険料剰余金 (H21分)
H22 H23.3.24	3,500		1,937,367	預金利子分
H22 H23.5.31		△ 332,690	1,604,677	(当初取り崩し予算額 769,504千円)

○ 平成20・21年度会計の保険料剰余金を、平成22年度会計へ繰入を予定したところ、平成22年度当初繰入  
見込 769,504千円に対し、決算額では 332,690千円に抑えられた。(基金残高 1,604,677千円を確保)

○結果的に保険料増加抑制策として、平成22年度も「財政安定化基金」の取り崩しを要しない状況となった。

※ H22保険料剰余金繰入額(基金取り崩し額)

(決算額) 332,690千円 - (予定額) 769,504千円 = (差引) 436,814千円の減